



医療福祉・在宅看取りの 地域創造会議 通信 第76号

(R1/12/24)



平素は、「医療福祉・在宅看取りの地域創造会議」へのご理解・ご協力ありがとうございます。

あっという間に年末ですね。改元、ラグビーワールドカップ、そして自然災害……。この一年を振り返ってみると、嬉しいことも悲しいことも様々で、いつになく時が過ぎるのが早かったように感じます。来年はオリンピックも開催されます。どんな一年になるか、楽しみです。

会員の皆様には今年も大変お世話になりました。令和二年も今年と変わらぬご支援、ご協力を頂ければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

第79回 ワーキンググループ会議 (12/12)

草津市立まちづくりセンター 309号室

滋賀県歯科医師会から歯科医師の大西啓之さんを講師に迎え、口腔機能と健康長寿の関係、口腔ケアのポイントなどについて、楽しくわかりやすくお話いただきました。身近な話題だけに皆さん興味津々で、講話を聴きながら実際に口を動かしている方もいらっしゃいました。

今月の参加者は初めての方2名を含む25名でした。

- ・オーラルフレイル（食べこぼし・滑舌が悪くなる等）はフレイルの前段階。この段階で気づき、訪問歯科につなげて！
- ・口腔ケアをしっかりとすることで心筋梗塞や脳卒中など病気のリスクが下がります
- ・誤嚥性肺炎の予防のポイントは「口腔ケア・義歯の洗浄をしっかりと清潔を保つ」「健口体操で口腔機能を維持・回復をはかる」こと
- ・一番大事なのは、こだわるのではなく続けること。



歯科医師

大西 啓之 さん

口腔ケアでお口の健康を保ち、いきいき長寿をめざしましょう！

グループワークより



・口は大事だと実感としてわかっている人は多いと思うが、実際取り組んでいる人はどれほどいるのだろうか。症状が出るまで治療をしない、取り組まない人が多いということが課題だ。

・高齢者は食事時に喉を詰まらせて亡くなることがある。口の体操は効果が見えにくい、食べるのが上手くなるので有効だ。

・口腔ケアは誤嚥性肺炎の予防になるが、その必要性がなかなか伝わらない。歯科医や保健師から、もっと発信してほしい。

・口の体操、口腔ケアを繰り返し行うことで、食事量の増加につながった。
・子どもの頃から歯を磨くように言われているが、なぜ大事なのか知る機会がなかった。

・歯科医が近所にあると良いが、歩いて行けなくなったら困る。もっと訪問歯科診療が増えてほしい。

・口は呼吸器の役割だけでなく、しゃべるため、食べるためのものでもある。今日はそれについて体系的に話を聞いて良かった。

次第

- ☆あいさつ・自己紹介
- ☆「口から始める健康寿命の延伸」
滋賀県歯科医師会
歯科医師 大西 啓之 さん
- ☆グループワーク
- ☆事務局からのお知らせ



次回以降のご案内

◎令和2年1月23日(木)18:30~

彦根勤労福祉会館 2階研修室
「在宅での排泄支援の事例紹介」(仮題)

話題提供者:

特定非営利活動法人 ホームスイートホーム
デイサービスセンター新海(彦根市)
森永 真由美 さん

◎令和2年2月20日(木)18:30~

草津市立まちづくりセンター 309号室
「在宅医療を支える薬局機能について」

話題提供者:

滋賀県薬剤師会 大西 延明 さん

皆様のご意見をお聞かせください！！

当会議の活動をよりいっそう意義のあるものとするため、皆様のご意見を募ります。
ワーキンググループ会議・総会・県民フォーラムなどの各種イベントや、通信・Facebookなどの広報活動につきまして、現在の課題、今後の進め方等についてご意見を下記事務局までお聞かせください！

医療福祉・在宅看取りの地域創造会議運営事務局

(滋賀県庁 医療福祉推進課内) 金岡・西浦

TEL:077-528-3529

FAX:077-528-4851

E-mail:

info@chiikisouzoukaigi-shiga.jp

